



FC岐阜

株式会社岐阜フットボールクラブ

代表取締役社長 宮田博之 氏

FC岐阜最高顧問の故星野鉄夫さんに捧ぐ

FC岐阜はかねてより財務体質が脆弱でしたが、大きな2つの動きによって救われました。2013年から2014年にかけての一つは岐阜市出身のJトラスト株式会社社長の藤澤信義様個人によって大きなご支援のお申し出を頂いたこと。そして岐阜県のご指導の元、地元経済界も十六銀行様、西濃運輸様、大垣共立銀行様や岐阜車体工業の星野会長様(後に顧問)のご尽力によって債務超過を回避出来たことでした。

もう一つは岐阜県下の企業や個人を挙げてFC岐阜支援組織として盛り上げられるように、古田知事後援会名誉会長が三顧の礼で星野さんを後援会会長にご推挙いただいたことでした。

星野さんは直ちに3名の従業員を後援会に送って下され、強力な後援会体制が出来上がりました。さすがに各務原商工会議所会頭、岐阜県経済同友会代表幹事など多くの外部団体の代表も歴任され岐阜車体工業の会長でありましたのでお顔は広く知れ渡っていました。そして何より素晴らしかったのは、毅然としていながら腰が低く、穏やかで、多趣味でユーモア溢れるお人柄によって各方面に大変人望が厚く、そんな星野さんが後援会会長になって頂いたことで、多くの企業や従業員の皆様からのご支援が増え続けました。

また、2015年FC岐阜にはクラブハウスや固定の練習場もないことを知るや、先頭に立って署名活動を展開して下さい、クラブと後援会が一体で短期間の内に16万人の署名を集めて岐阜市長に提出され、2016年2月に岐阜市スポーツ交流センター内にクラブハウスが完成されたのでした。

2015年12月に故郷を離れて半世紀の私がスムーズに岐阜社会に溶け込めましたのは、星野後援会長の存在の大きさでご紹介によってであり、全員が自慢の後援会長の存在のお蔭で営業収入は年々拡大更新することが出来、感謝の念一杯です。

2018年に体調優れず、後援会長の役割を岐阜乗合自動車の岸野社長にバトンタッチされましたが、お元気な間はホームでの試合には奥様と応援に駆けつけて下され、我々はいつも感謝でした。6月に思い切って大手術をなされ、その後順調に回復され、電話やジョークメールを頂いたり一旦は退院されて事務所に顔を出されるまでになられて安心していました。しかし今年になってから再び入院なされ、突然、本当に残念ながら2020年2月13日遂に帰らぬ人となられてしまいました。

ご葬儀の2月15日は奇しくも嘆願署名活動をして下さった念願のもう一面の天然芝の練習場の完成披露の日となりました。星野さんの長年のご尽力が柴橋市長に通じて遂に実現したもので、天国から笑顔で見ていると思いました。本当に言葉だけで言い表せないくらい、FC岐阜を大きく育てて下さった素晴らしい方で、関係者の皆様方と共に心からの感謝とご哀悼を捧げます。有難うございました。

目下は未曾有の新型コロナウイルスの蔓延下で、ようやくチーム活動が再開したところですが、開幕と共に皆様とICHIGANでJ3優勝を勝ち取る決意です。

ICHIGAN ! Fight together !



写真：©Kaz Photography/FC Gifu